



急がれるサービス基盤の整備・充実

日本共産党 代表質問

市の行革は効率を重視しすぎているのか

市長 ▼ 大切なのは市民への奉仕

松田 成 溪

問 子どもが減ったから統合など簡単に考えてはいけない。地域を破壊するような統合はすべきでない。保育所や小中学校の統合についての考えを聞く。

かつ効果的に応えていくことも大切だ。統合は避けられないのではという問題意識でいる。教育長 文科省がいう適正規模というような数で固めていく学校は京丹後市にはそぐわない。50人の学校があ

ってもよいし600人の学校があってもよいというような大胆な発想で考えるべきだ。

問 行革推進計画では、5年間で約4分の1の職員を減らすことになっている。これですべての職員の持てる行政がやれるのか。例えば保育所。昨年9月議会、臨時職員の担任しているクラスは43のことであった。今年度さらに14人の保育士が退職し正職員で

の補充はゼロ。これですべての職員の持てる行政がやれるのか。例えば保育所。昨年9月議会、臨時職員の担任しているクラスは43のことであった。今年度さらに14人の保育士が退職し正職員で

問 保育所の民営化について現在どう考えているのか。

市長 統合と合わせて社会福祉法人への委託ということも含めて検討している。

問 市の行革は効率を重視しすぎているのか。財政は再建されたが地域は破壊されたということではないか。

市長 財政はあくまで手段。大切なのは市民への奉仕。その原点を忘れないようにしたい。



統合は住民の意思で

公明党 代表質問

中山市政の骨格は

市長 ▼ マニフェストに

沿い推進している

池 部 皓 三

問 マニフェスト（政権公約）は、有権者と候補者との間の委託関係を明らかにしている。市長が2年間の施策と、18年度の初めての本格予算に、どのように反映し具体化したのか、その進捗度

を問う。

市長 公約の2大柱に基づき市政を推進している。①「経済・生活・自然環境が調和した経済・生活圏を創る」これは、市民生活が直結するものとして、2年を掛けて市総

合計画、行財政改革推進計画に方針を具体化したものが多く、今後、計画を施策化し、実現化へ加速していく。

②「行政の適正化、公平で透明な市政という行財政の運営を目指す」これは、行政運営に関わる枠組みであり、審議会を初めとするさまざまな情報公開、出前市政懇談会、外部委託推進（検討中）、目安箱など、行政の進め方については

相応に進んでいる。今後この両方の柱に沿って懸命に取り組んでいく。

問 この思いが、職場で共有化されているか。

市長 目的の共有化は十分でないが、これも深く分かり合うための基盤をつくる大切なステップだと思ってる。

問 市に義務づけられている、障害者基本計画と障害者福祉計画の策定に係る調査委託料が予算に計上された。障害者の方々の要望を受け、修正が重ねられては来たが、特に経済的負担などまだまだ不安・心配の声が多い。市としてどのように対応をしていくのか。

保健福祉部長 18年の策定を予定している。17年に基本計画へのアンケートが終わり、18年に福祉計画の実態調査を実施した後で、関係者・障害者の方々の意見をよく聞いて、計画の策定をしたい。



原発に頼らない地域振興

問 昨年末に市の総合計画が策定されたが、厳しい財政事情の中にあっても、地域や市民の知恵と協働の力、そして管理職員以下スタッフのやる気を引き出すことで、計画を夢物語に終わらせることのない取り組みが必要だ。

市長 さて、今回、市長が久美浜原発調査返上を決定した理由と地域振興の考え方は、

市長 市長選挙の際「新市の新しい方向との関係で、立地はなじまないのではないか」「旧町で推進決議を何

回もされてきた重みと決議の主旨は地域振興であり、しっかりとみとらなければならぬ」と申し上げてきた。30年間のご心労に応え、地元の皆さまの願いとしての地域振興計画を一年かけて作り上げた。原発は、拒否したのでなく、「白紙の状態に戻してほしい」とお願いをし、関電が総合判断・経営判断として撤回されたものだ。

問 31年前に地元へ

の条件や不適地となつた場合の補償等の約束はあったのか。

助役 立地に関しての約束事は一切ない、という認識に立っている。

地域振興の考え方は

問 蒲井地域の振興計画の基本的な考え方と財政計画は、

企画政策部長 計画は、地元のご意見を最大限取り上げ「豊かな手付かずの自然を大切に、ありのままの風景

と四季の草花にかこまれた暮らしとともに楽しむ地域づくりをめざす」をテーマに取り組んでいきたい。

財政全体の計画はまだ詰めができていないが、当面は過疎債、地債を活用し、風蘭の館に、3〜5億円の整備費を考えている。

財源は、国・府とあわせ、関電からの支援もお願いしていきたい。

久美浜原発の調査返上は市長の英断

市長 ▼ 関電の総合判断だ

市民派クラブ 井谷 實夫

問 市長は、産業振興のキーワードは観光だと言われるが、観光は、旅館業だけではなく、市民総出の取り組みと、異業種連携が必要だと思うが、市長の観光に関する考えは、市長 産業振興の基本

は、既存の業種業界の本業に関する支援が最も重要である。

加えて、今後は、市を挙げて、あらゆる産業が連携し、さらに付加価値を高め、観光面で経済効果を生み出すしくみづくりに、本格的に取り組むたい。

観光を興す人材と的確な施策が急務

問 丹後は、観光資源や魅力がいっぱいあるというが、現時点では原石があつて、磨けば光るという状況だ。

今後、観光産業化を進めるためには、地域全体の資源を活かした観光デザインを創ることと、加えて、官民双方に、観光力リスマと言われるリーダー（人

材）が必要ではないか。

また、観光産業化のための重点施策は何か。

市長 全国的に見ても、観光が基幹産業に発展した先進事例の背景には、必ず仕掛け人と言われる観光力リスマ（優れた人材）が存在したと認識している。

本市は、6町合併により事業エリアが拡大し、現時点では、行政も業界も、京丹後市一体的な取り組みとしては、未熟な点もある。

が、旧町それぞれの持ち味・獨創性を活かして、本市の観光産業化に懸命に取り組んでいただいている。そうした真剣な取り組みの中で、間もなく力リスマ的な人材の現れる日も近いと思っている。その間、行政支援策として、観光インフラ整備を中心に、観光協会・業界の方々と、市民を巻き込んで、適切で的を射た施策を展開したい。



「近き人喜びて、遠き人来る」 よし野の里

活政会 代表質問

観光産業化の取り組みを本格的に

市長 ▼ 観光インフラ整備を加速させたい

中西 敏行

中西 敏行



久美浜市民局

問 6町合併は分散型で各市民局に職員の半数は残すという条件、今回の人事異動は市民局の職員ばかり大幅に減らされた。

市長 行政運営全体でみると人件費を何とかしないとけない。職員の削減を本庁、市民局という分け方をしたとき、出てきた数字でご容赦いただければと願っている。

問 職員定員適正化計画によれば、879人を5力年で230人削減する、5力年は新規

採用できない、若者の雇用はどうする。

市長 京丹後市全体を雇用や産業の創出の場としたい。しっかりと福祉、子育て環境、若者の働く場を作りたいという思いの中で、行財政運営を考えると当面の間こうせざるを得なかったという事情をご理解いただきた

品目横断的経営安定対策が導入される。これまで、「全農家」を対象とし、品目ごとの価格に講じてきた対策を担い手に対象を絞り、経営全体に着目した対策に転換するとしている。このことは戦後の農政を根本から見直すものである。この秋からの対応を問う。

市長 農業は京丹後市の基幹産業と認識している。農業者の皆さん、担い手といわれる

人が農業で食べていける様な環境、仕組みづくりを農業振興関係予算で拡充したい。

問 団塊の世代の定年退職を控えて農山漁村への移住・就農を誘う事業を打ち出す府県が相次いでいる。700万人とも言われる人達の力を京丹後市の地域づくりに生かしていただきたい。

市長 京都府とも連携して懸命に取り組む。

市民派クラブ 代表質問

分散型合併を問う

市長 ▼ 行政二一ズの結果である

野村 重嘉

品目横断的経営安定対策が導入される。これまで、「全農家」を対象とし、品目ごとの価格に講じてきた対策を担い手に対象を絞り、経営全体に着目した対策に転換するとしている。このことは戦後の農政を根本から見直すものである。この秋からの対応を問う。

人が農業で食べていける様な環境、仕組みづくりを農業振興関係予算で拡充したい。

丹政会 代表質問

行財政改革の目指す具体的な方策は

市長 ▼ 仮称株（京丹後市総合サービス）の設立を

石河 良一郎

石河 良一郎

問 行財政改革の推進をしていく中で、職員の削減、人件費の縮減計画の見通しは、市長 勸奨退職を40歳以上まで範囲を広げる検討を進めている。一方、受け皿としての組織のあり方も検討を要

する。人件費改革も計画に基づいて進めていくが、常識を超えるようなことは考えてない。

問 行財政改革の大きな柱として、アウトソーシングの推進が上げられている。仮称・株式会社京丹後市総合サ

ービス設立について、具体的な見解を問う。

企画政策部長 早急に実務にあたる専門員を確保し、18年秋頃を目処に設立をしたい。

問 4月からの機構改革の中で市民局が2課体制へ移行するが、市民サービスの低下を招かない工夫について。

市長 アウトソーシングを進めていく必要がある。一方、テレビ電話の設定、郵便局との連携を図り窓口業務の

利便性を高めるなど、サービス拡充に努める。

問 行政効率を高め、迅速な行政運営を推進するために、行政コストを削減するために、本庁機能をもつ庁舎の整理統合は大きな課題である。庁舎建設検討委員会のようなものを設置して議論を始めては。

市長 非常に非効率的一面があることは認識している。総合的なスケジュールを考えた

サービス低下を招かない工夫を





子育て支援のため他市並みに保育料の値下げを

問 「恋人の聖地」の選定をあじわいの郷が受けるが、全国的な傾向と同様に、京丹後市においても晩婚・未婚化が進んでいる。各種調査によると、未婚化の大きな原因は、出会う機会が無いこと、経済

的な理由、見合い結婚の減少、職場結婚の減少などであり、すでに多くの市町村で出会いパーティなどの結婚支援策が取り組まれているが、市長の考えは。

市長 全国の事例も研究し、京丹後市で有効な施策が打ち出せないか検討をはじめたい。

問 内閣府特別世論調査では、少子化対策として、経済的負担の軽減への期待が強く、厚労省の国民生活基礎調査によると、子育て世帯の実質所得は右肩下がりで低下している。独自の子育て支援事業を打ち出す自治体も多いが、子育てに対する経済的支援策の考えは。

市長 子育てのできる環境、就業環境の整備がまず大切。また、子育て支援について検討していくことが大切。

未婚対策など 少子化対策を

丹政会
大同 衛

市長 ▼ 検討を始めたい

問 学校通学路の安全点検はできているか。
教育長 自宅から学校までを警察の情報も含め毎年点検している。
問 今後の課題は。
教育長 ひとりで行く区間がある子供には特別な手当ても必要と認

問 マスコミやインターネット等の有害情報に対する指導は。
教育長 教師に対して指導はしているが、子

問 原発問題は市民の意見を聞いてから意思決定するはずでは。
市長 検討したが、市民に原発の賛否自体を問わざるを得なくなり混乱を招く恐れもある。また、今回の決定は地域振興を進めるた

問 漁協は交渉の当事者であり、商工会は推進で動いていた。これら関係者の反応は。
市長 私の政治的立場は推進の方と同じだ。程度の差はあるが一定

問 蒲井・旭地域振興計画に、市の財源を流用することは理解が得にくい。市長自らの責任で財源確保が必要だ。
市長 蒲井・旭の地域振興を久美浜あるいは京丹後市全体の地域振興につなげることが重要だ。財源確保は起債等を活用のほか、関電



子供達の安全確保が必要な通学路

登下校時の安全確保は 教育長 ▼ 一人通学の 子供に配慮する

丹政会
森口 亨

供に対しては現場対応となっている。今後は教育委員会として計画的な指導を検討する。

問 原発無しの地域振興は市長責任で財源確保を。
市長 そうだ。推進決

問 蒲井・旭地域振興計画に、市の財源を流用することは理解が得にくい。市長自らの責任で財源確保が必要だ。
市長 蒲井・旭の地域振興を久美浜あるいは京丹後市全体の地域振興につなげることが重要だ。財源確保は起債等を活用のほか、関電



作業所で働く人々に配慮を

問 小泉内閣の「構造改革」のもと、国民への痛みを押しつける中で貧困と社会的格差が生まれ、弱者といわれる人達は大きな不安を持っている。とりわけ4月1日から始まる障害者自立支援法は、障害

問 厚生労働省の説明パン

フには、支援法により施設は一層充実し良くなるというのであるが、本当にそうなるのか。負担はどうなるのか。

問 一層充実するとい

他の自治体では求めている「同意書」の提出を求めているが、撤回すべきだ。また提出した人達には返すべき書類だ。支援法の大きな変化は、事業主体が国から市町村になることであり、京丹後市としても独自の施策がやれるかどうか。

市長 負担軽減を重視し施設の人達の声も聞き、懸命にやっていきたい。

障害者・施設への 積極的な支援を

日本共産党
森 勝

市長 ▼ 懸命にやっていきたい

問 一層充実するとい

問 早急に実態を把握し、未申請者にも徹底せよ。市は申請時に、

他の自治体では求めている「同意書」の提出を求めているが、撤回すべきだ。また提出した人達には返すべき書類だ。支援法の大きな変化は、事業主体が国から市町村になることであり、京丹後市としても独自の施策がやれるかどうか。

市長 負担軽減を重視し施設の人達の声も聞き、懸命にやっていきたい。

安心して出産のできる 体制を早急に確保せよ

日本共産党
平林 智江美

市長 ▼ 懸命に努力している

問 弥栄病院の産科休止により、お母さんたちから「どうしたらいいの」との不安の声が多数寄せられた。市内では里帰り出産も多く、年間5百人弱のお産があるが、大切な命が危険にさらされてい

市長 同様のレベル体

問 厚生労働省の調べによると、京都府の医師数は、人口比では全国の中で2番目に多い

問 高齡化の中、近い

市長 患者本位の医療体制にするために、行政が責任を持つてやるべきである。



ぼくの妹だよ よろしく



快速電車で快適な旅を

問 昭和7年8月10日に鉄道旧路線、峰山線と峰豊線が連接され舞鶴、豊岡間が全通し「宮津」線が誕生した。それから56年後の昭和63年3月26日、宮津線は第三セクター方式による鉄道として存

続が決まった。その4年後、荒巻嶺一前京都府知事が山陰本線と北近畿タンゴ鉄道線の高速度計画を打ち出したのは、1992（平成4）年の年頭記者会見の席であった。京都府は、鉄道交通の最重要

課題は福知山、天橋立間の電化・高速化であると判断し、具体化する事となった。1996（平成8）年3月16日福知山、天橋立間の電化・高速化開業を行い、電車特急・気動車特急が全て京阪神地区へ直通する華やかな列車となり、京都、天橋立間の最速達電は電車特急の1時間44分となった。また天橋立、新大阪間にも電車特急と気動車特急が登場

京丹後市に快速電車を！

丹政会
吉 浪 芳 郎

市長 ▼ 無理がある

問 基幹的農業従事者の減少が進んでいるが、市独自の対策は。市長 新規事業を数多く立ち上げた。特に販売ルートの開拓により、魅力ある農産物を安心して作れるようにしたい。

問 国が定めた趣旨に沿いながら、小規模・兼業農家の多い地域の事態を踏まえた、規模要件の、大幅な緩和策が取れないか。市長 問題意識は共有している。府と協議して善処したい。

問 組織結成経費や農機具融資の金利軽減は。農林部長 市では農業団体育成事業で組織結成の費用は支援できる。金利軽減はJ Aと話をしてみたい。

問 国の担い手施策に対応することが困難な地域への支援や指導は。市長 さまざまな対策事業の中で対応できると考えている。

問 半数を占める担い手から外れる農家への支援や指導は。農林部長 部内に農業改善支援センター職員を配置して相談指導を行う。

問 防護だけで有害鳥獣対策は、無理ではないか。被害総額を見ると捕獲等にもっと費用を掛けては。農林部長 府の事業で間伐材を利用した合板を作るなどの支援、府市町と森林組合や木材業者との懇談会に対応を協議する。

問 果樹栽培農家への支援は。市長 国や府の補助事業を活用し、可能な支援を進めていく。

魅力ある農業経営 確立に向けた対策

丹政会
谷 口 正 博

市長 ▼ 販売ルートの開拓をめざす

問 組織結成経費や農機具融資の金利軽減は。農林部長 市では農業団体育成事業で組織結成の費用は支援できる。金利軽減はJ Aと話をしてみたい。

問 防護だけで有害鳥獣対策は、無理ではないか。被害総額を見ると捕獲等にもっと費用を掛けては。農林部長 府の事業で間伐材を利用した合板を作るなどの支援、府市町と森林組合や木材業者との懇談会に対応を協議する。

問 果樹栽培農家への支援は。市長 国や府の補助事業を活用し、可能な支援を進めていく。

問 天橋立以北への電化に無理があるとすれば非電化による直接乗り入れ方法で、電気から離れた電車を気動車で目的地で牽引し、乗客が乗換えをしなくても良い方法もあり九州ではやっているところもある。京丹後市も観光地としてアイデアと工夫により客誘致をしなければと思うが。市長 タンゴ再発見の意味でも今後検討していきたいと思っている。



観光の中心に

問 京丹後市の観光の課題である、四季型、滞在型の観光地を目指す18年度予算について、市長の考えを伺う。市長 駐車場整備、基金条例等、インフラ整備を考えている。異業種交流も含めて、京都府と連携し、リフレックスエリア丹後など滞在型観光を目指す。京丹後市の観光の移動はマイカーでないと無理、公共交通やKTRも含めて課題と思うが。市長 現在、KTR、

公共バスをどうするか検討中なので、その中で観光も考えたい。

問 久美浜一區は稲葉本家を中心として、寺、神社、久美浜アメニティ公園等、滞在型の観光地として、非常に魅力がある。また、京都府も西の玄関として久美浜を注目しているが、久美浜を京丹後市の観光モデルと

して考えられないか。市長 町づくりを中心とした観光地は素晴らしいと思うが、目的型の観光地、例えばカニ、温泉、葉草とかを目的とする外科療法的な取り組みも合わせて必要ではないか。

問 宇川地区の除雪について丹海バスが二日止まったが何が原因か。市長 12月15日からの除雪計画になっていた。機械の配備が遅れたのが原因と考えている。今後注意したい。

京丹後市の観光予算で 目指すものは

丹政会
池 田 恵 一

市長 ▼ インフラ整備や 滞在型観光を目指す

問 久美浜一區は稲葉本家を中心として、寺、神社、久美浜アメニティ公園等、滞在型の観光地として、非常に魅力がある。また、京都府も西の玄関として久美浜を注目しているが、久美浜を京丹後市の観光モデルと

して考えられないか。市長 町づくりを中心とした観光地は素晴らしいと思うが、目的型の観光地、例えばカニ、温泉、葉草とかを目的とする外科療法的な取り組みも合わせて必要ではないか。

問 宇川地区の除雪について丹海バスが二日止まったが何が原因か。市長 12月15日からの除雪計画になっていた。機械の配備が遅れたのが原因と考えている。今後注意したい。

現場の声を聞き 暖かい福祉施策を

丹政会
松 本 経 一

市長 ▼ 懸命に取り組んでいる

問 これまで社協で行なわれていた外出支援サービスが、4月から福祉有償運送に変わる。その際、これまでの旧町ごとにまちまちだった利用者の登録基準が統一された。以前に比べ厳しいものに変更

になった町では、現在の利用者の多くが登録できなくなる、と不安の声がある。市長 利用料金を安くするなどの配慮はした。ニーズを聞きながら適宜見直しも考える。

問 今後の高齢者などの外出困難者の移動送迎サービスを考える。市長 利用料金を安くするなどの配慮はした。ニーズを聞きながら適宜見直しも考える。

問 今後の高齢者などの外出困難者の移動送迎サービスを考える。市長 利用料金を安くするなどの配慮はした。ニーズを聞きながら適宜見直しも考える。

問 古紙回収団体補助金が引き下げられた。この補助金は福祉施設の維持運営費や、利用者の生活に直結する。今後、一般資源ごみの回収も含め、どのように考えるか。市長 古紙と一般資源ごみは分けて考える。回収補助金はこの水準でご容赦いただきたい。



高齢者の外出支援を支える社協の福祉有償運送



地区の拠点 木橋区事務所

問 自治組織（区）の行政関連業務は各地域により大きく異なる。私達の地域では30年来地区民の要望であった鳥取川改修工事計画案を京都府から提案され、区長は地区民の意向を行政と共にまとめ

ねばならない。峰丹バイパス工事も該当区長は同様であり地区関連公共工事への協力である。また農家組合との連携、防災、環境整備、高齢者、子供の安全など市行政推進への協力、貢献度は非常に

大きい。合併前より希薄となった区、市民局、本庁との連携をより強化するべきではないか。

市長 この度の人事異動では京丹後市の一体感を育むよう地元出身者以外の市民局長を配置した。

地区の特色を生かしながらし行政との連携強化を図る。

問 今回の機構改革を節目に本庁でも各地区との連携強化、もちつ

特養ホームの新規開設と増床について

市長 ▼ 百人増の施設整備を計画したい

活政会 大下倉 禎 介

もたれつの新体制を検討するべきではないか。

市長 旧町の区長協議会の開催をふやし本庁管理職も出席するなど行政推進への理解と協力を頂くよう各区長さんや、市民との接触する機会をふやす工夫を考える。新年度より体制強化を図る。

問 入所待機者が多く、増加ぎみの特別養護老人ホーム施設は京丹後市にとって最も重要な高齢者福祉対策で

ある。介護の必要度の高い、中度、重度の介護支援には絶対必要な施設である。しかし国もお金のかかる特養施設は敬遠していると言われているが。

市長 19年、20年度に入所者1000人増を計画したい。

問 特養の施設整備は旧六町の地域的バランスを、配慮して頂きたい。旧六町の町長会でも了解済みと聞か

問 福田川生活関連ダムは、昭和47年の台風大水害にあった網野町民の願いが、平成5年度に京都府第1号のダムとして叶えられたもの。平成15年には、議会ではもとより全町挙げての京都府への最後の要望としてダム事業の促進の働きかけを行った。しかし誠に残念なことには昨年3月、京都府はダム中止の決定をした。代案として川幅を30mにするなど、「福田川河川整備」について検討されている事業

の内容はどのようなものか。また網野・浅茂川市街地の雑排水のほとんどは小栓川と内ヶ森下水路に流入し、なかでも内ヶ森下水路の末端に溜まる大量のゴミの始末は大昭区民の無償ボランティアで20年行われてきている。1年に何度となく毎年浸水被害にあっている大昭区民をはじめ、多くの住民が安全で安心して暮らせる「内水対策」についての考えは。

市長 府は17年度は2億6,000万円で弁天大橋の架け替え事業等を施工。市はポンプ施設など府とリンクし全体を見ながら事業を進める。なお、生活そのものに影響する事業であり、30年とは言わず住民の皆さんが安心して暮らよう、今後もしっかりと対応していく。

久美浜町に文化的活動施設を

問 講演会や音楽会などが開催できる施設と



改修が待たれる福田川

網野町浅茂川市街地の浸水対策は

輝友会 奥野重治

市 府は17年度は2億6,000万円で弁天大橋の架け替え事業等を施工。市はポンプ施設など府とリンクし全体を見ながら事業を進める。なお、生活そのものに影響する事業であり、30年とは言わず住民の皆さんが安心して暮らよう、今後もしっかりと対応していく。

久美浜町に文化的活動施設を

問 講演会や音楽会などが開催できる施設と

して、今ある久美浜公会堂の改修をしては。

市長 今後地域の方々の意見を聞いていく。

問 小中学校の給食施設の老朽化に伴い、全式的に移行してはどうか。またこれに伴い削減される数千万円の経費は、教育そのものに費やす事ができると考えるが。

教育長 学校の統合ともあわせ、今後の課題としていく。



便利で使いやすい交通システムを

楽しいお弁当を

問 お年寄りや障害者の方に配食サービスを行ってはどうか。ボランティアの方々の協力を得て、手作りのお弁当をお世話になれば、大変喜ばれると思う。

市長 ご提案の趣旨が

高齢者・障害者に安らぎを

市長 ▼ 趣旨をふまえて検討したい

輝友会 高山充男

が不自由なお年寄りに対して、「停留所から乗って、停留所で降りてください。あとは知りませんよ。」ではすまされない。「あと」の部分の対応が必要だ。

ということ、自宅から行先までの送迎ということであるが、この交通システムについてどう考えるか。

市長 大変大切な視点である。公共交通システムで取り組むか、福祉対策として取り組む

先手の災害支援を

問 台風で暴風雨の最中とか大雪の時は、とても怖くて不安だ。災害が起きるかもしれないと危ぶまれる時に、災害弱者に身の危険を感じさせない取り組みが望まれる。

いくつかの地区ではこういう時に独居老人などの希望者に公会堂などで寝泊りするように対応されている。先手、先手の支援策が全地区でされるように、区長会等の関係機関に働きかけてはどうか。

市長 市民の皆さんとの協働の中の一歩大切な一つとして、啓発に努めたい。

除雪計画の策定にあたり、教育委員会・農林部・地域の情報を取り入れているのか。

建設部長 地域事業課と連携。小中学校より通学路の要望があり、新年度より取組む。

問 委託業者のみの除雪では、出勤時

高齢者・障害者に安らぎを

市長 ▼ 趣旨をふまえて検討したい

輝友会 高山充男

か、よく検討したい。

先手の災害支援を

問 台風で暴風雨の最中とか大雪の時は、とても怖くて不安だ。災害が起きるかもしれないと危ぶまれる時に、災害弱者に身の危険を感じさせない取り組みが望まれる。

いくつかの地区ではこういう時に独居老人などの希望者に公会堂などで寝泊りするように対応されている。先手、先手の支援策が全地区でされるように、区長会等の関係機関に働きかけてはどうか。

市長 市民の皆さんとの協働の中の一歩大切な一つとして、啓発に努めたい。

除雪計画の策定にあたり、教育委員会・農林部・地域の情報を取り入れているのか。

建設部長 地域事業課と連携。小中学校より通学路の要望があり、新年度より取組む。

問 委託業者のみの除雪では、出勤時

除雪・雪害対策の総括は

市長 ▼ 除雪準備の前倒しをしたい

公明党 松本聖司

間に、間に合わないケースがあるが。

建設部長 除雪終了時間の計画はない。

問 国営農地の冬野菜で出荷が出来ず、一部地域で農道除雪に入っただが、安心のため基準が必要と思うが。

農林部長 12月に収穫する加工野菜についてお願いした。時期はずれの降雪については、計画要望したい。

問 冬季の社会教育施設の除雪の考えは。

一丁調達改革について

問 近年一丁調達改革

の必要性が議論されているがどう考えるか。

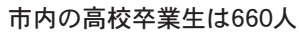
市長 府内の市町村、企業と共同システムを開発運用している。個別システムは、総合評価方式、地元への発注等作業部会で検討。

問 京都工芸繊維大学と地場ベンダーの育成や第三者評価の面で、連携強化できないか。

市長 連携が図れる部分が多いので検討する。産官学で地域振興が進めればと考えている。



早朝の除雪



備を総合計画に沿って
一生懸命進める。

問 都会から丹後へ住
まわれて17年、貴重
なメッセージの感想
は。

市長 力強い言葉であ
り定住促進に取り組む。
問 国勢調査で3,0

70・4%が高齢者向け。児童家族向けは3.8%と聞く。本市の状況と孫への予算を増やすことは市民の理解は得られるのでは。

市長 本市で高齢予算45%、児童37%位か。必要であれば検討する。

問 自治会組織（区制）の現状は世帯数2万772戸、自治会数236区、隣組数1,847で組織がなされている。区と行政は一体でなければならぬが年度末任期も一定ではない。徐々にでも一

て地域力を高め市の事業を受託できる区が求められる。市の助言助成は。

市長 行政と市民のパートナーシップを高めながら自分達の町は自分達で、その動きが加速するよう期待する。

無会派
浅田武夫

00人近い減少、さらに5年後の国調人口予測と激減過疎地域対策は。

市長 府北部全体を含め真剣に受け止め反転させたいと願う。

問 国の社会保障費

問 人生は結婚がすべてではないが未婚晩婚が増えています。結婚サポート対策を急ぐべきでないか。

市長 地域の課題である。どんなことができるのか研究したい。

では、元化をお願いするべき
市長 区長連絡協議会
に提案しているが難し
いのが実情である。
問 市が末端まで何で
も施す時代は終わっ
た。地域も意識を変え

「スもある。しかし、お産に主体的に関わることで非常に豊かな家族の出発点にもなる」ということを学んだ。

全国的にも産婦人科医が不足し、弥生病院も新たな医師確保が難しい中、助産師を中核

市長 バックアップを
きちつと整えながら助
産師の体制を検討して
ゆく。

京丹後ならではの
医療哲学が求められる！

問 今、京丹後の医療
に求められるものは、

べてを並べることでではなく選択である。それなしには現場は動けない。そしてビジョンと現実のリソースとのギャップが現場の工夫や成長を産み、そのような動きに引かれて志あるスタッフが寄ってく

のかを見定めてゆかなければ、これからの医療デザインは描けないし、現場は動けない。

京丹後市における適切な医療、安心についての市長の見識は。

市長 議員の意見にほぼ共感する。

生まれたての赤ちゃん 彼らが育つ未来のために！

無会派
早川雅映

めには、1～2人の医師確保と他の病院との連携、正常出産を担う助産師の十分な研修が必要ではないか。

市長 バックアップをきちつと整えながら助産師の体制を検討してゆく。

国の動向を読み取るにとり市のトップとしての医療ビジョン、哲学である。3年目になってまだ手続き論をやっているようでは遅い。戦略とは欲しいものすべてを並べることではなく選択である。それなしには現場は動けない。そしてビジョンと

る環境が出来る。逆のサイクルになっていると医師は来ないのでないか。

我々としてどのような医療を望み、どのような医療を豊かと思うのかを見定めてゆかなければ、これからの医療デザインは描けないし、現場は動けない。

楽しい1日が終わった

市長 弥栄病院のみならず府北部に位置する各病院の医師確保は非常に難しい。京都府並びに関連大学に対し積極的な支援をお願いしている。またインターネットなどを通しての医師確保、さらに病院

問 医師不足がより深刻になれば、救急病院の返上、救急患者の受け入れ制限等の心配も考えられ、市民生活に大きな影響が生じることにならないか。

市長 そのような事態にならないよう努力

てどのような方針か。
市長 就学前教育の重要性は認識している。また幼保一元化についても要請があり、認定子ども園等の検討も含め教育委員会と十分協議したい。

問 少子化が進み、小

進めるには、幼保一体化も視野に入れた検討が必要と思うが。

教育長 幼保一体化は課題もあるが、良い面も多く、今検討されている保育所の統合と併せ検討していくことを考えている。

活政会
今度 弘

連携による医療体制の確保にも努めている。

医師の確保は病院にとって最重要課題であり、私はもちろん、関係者一丸となつて医師の補充に努める。

し、入院患者の制限、救急告知病院の返上等は一切考えていない。

問 幼小の連携強化と、就学前教育の充実が求められる中で、本市の幼稚園教育について

規模の保育所も現存する中で、保育所の統廃合は避けられない現状にある。地区役員、親などとの話し合いも進められているが、親のニーズに合った保育を

一線を画して、学校の適正配置を考えなければならぬ時期に来ている。今後、教育委員会とよく相談して、学校適正化審議会のようなものを立ち上げて、学校関係者、市民の声を聞き、あるべき姿を

市長 今、本市にはスポーツ振興計画はない。計画策定については、教育委員会とよく相談して進める。様々なスポーツ振興が出来るように、支援して行く。

問 最近は何者障害者スポーツ

面からも難しい。
プロジェクトチーム
方式なども視野に入れ
検討する。

問 環境浄化運動は、
市民の自主活動であ
り、今まで継続してき
た市民が出来ること
は、市民がやるという

市長 全市的に取り組むことが出来れば、素晴らしいことだ。市民の自主的な活動が、今後、益々重要になる。市民団体とのパートナーシップの構築のためにも支援して行く。

感謝・夢・旅立ち

活政会
岡田 修

見出していきたい。
教育長 個人的な見解であるが、それぞれの地域を壊さない形で、統廃合が、いかにあるべきか模索していく。
問 市のスポーツ振興計画を策定する考えは。

ーツの充実や高齢者の生きがい、健康作りとしてのスポーツの重要性が高まっている。そこでスポーツ振興課の設置は。

市長 ニーズは高まっているが、行政改革の面からも難しい。

地域作りを行政が支援していく必要がある。そこで、統一的な取り組みとして、仮称《クリーン京丹後》のようなものを立ち上げて、全市的に取り組まれては。

市長 全市的に取り組

チャレンジ！京丹後

「子供と一緒にどんどこどん」

溝谷太鼓

弥栄町溝谷太鼓は、溝谷地区の男女14人で組織する太鼓サークルで、昭和53年に発足しました。

などがあります。これまでの活動として、京都国体の開会式、北海道地内町や長野県八坂村、島根県弥栄村での演奏、各種イベントでのオープニングなどです。華やかに活動されています。

溝谷祭保存会の「太鼓部」から独立し、平成2年に現在の組織となりました。オリジナル曲として「丹後の四季」や「丹後王国太鼓」

秋祭り



年間を通しての活動としては、毎月2回の練習を中心に行い、イベント出演、福祉施設への訪問などを地道に続けられています。中でも大切な活動は、10月に行われる地区の秋祭りへの協力です。



はじめは子供神輿や山車と一緒に、地区内のあちこちで会員が芸太鼓を打っていました。

そのうち、徐々に中学生が打ち手となり、観客の皆さんも我が子や孫の晴れ姿を楽しみにさるようになり、現在では太鼓が秋祭りになくてはならない存在となっています。祭りのクライマックスでは、地域の皆さんや弥栄病院の入院患者さんらが楽しみにされている市民局前での披露があり、

太鼓以外のこともお互いに学び、高めあう場となっています。

小学生も一緒に

地元の溝谷小学校でも太鼓を学習活動の一環に取り入れています。高学年を中心に「溝谷太鼓」のリズムをベースにした、様々な振り付けや掛け声を交え、学習発表会で披露します。この小学校での練習へも時々指導に招かれ、現在では小学生が

最大の晴れ舞台として、張り切って演奏されています。会員は、この秋祭りの中学生の練習指導を2週間にわたって引き受けます。そこは、地域の大人と中学生、また中学生同士の間で関係、役割、マナー、あいさつなど、

中学生へとつながる流れができました。課題としては、太鼓の維持・管理や、会員の高齢化、また各地での演奏やイベントでの発表の機会が減少したことなどがあります。今各地で問われている地域活性化の取り組みが太鼓を通して子どもたちもまきこんだ大きな輪にさらに広がるようチャレンジが続いています。



あとがき

いま、京丹後市は三年目を迎え、新しいまちづくりの本格的に取り組む時期にさしかかっています。こうした中で、私たちは、議会での論戦・審議の様子を市民の皆さまに公正に、より分りやすくお伝えしようと努めて参りました。私たちが担当する議会だよりも最終号となりました。一年間のご愛読、大変ありがとうございました。



議会広報編集委員会

委員長 野村 重嘉
副委員長 松田 成溪
委員 岡田 将義
川浪 耕一
小牧 聖司
大同 1人増
（会派の結成に伴い、えましました）